

## 市議会12月定例会報告

12月15日に、全ての議案等の審議を終了

### 始めに 所属会派についての報告

まずお知らせとして、私の議会内の所属会派についてのご報告です。

私は日本維新の会の考えを率直に貫けるよう、現在ある会派への所属は、この度は見合わせました。

よって広報などには、私は「無所属」と表記されますが、日本維新の会の議員であることには変わりませんので、ご承知おき願います。



### 市長・議員の期末手当の支給率の引き上げに反対しました

支給率は人事院勧告を考慮し改正することでしたが、人事院勧告を行うために比較した民間企業というのは、企業規模、事務所規模ともに50名以上の企業が対象であり50名未満の中小零細企業が入っていません。

中でも製造業・その他で従業員20名以下、商業・サービス業で従業員5名以下のいわゆる小規模企業に従事する従業員は全従業員の25%と言われておりますが、これらの従業員も当然含まれていません。

これでは民間企業の平均とは言えないと考える次第です。

そして財政状況は厳しい状況が続いている中、徹底した行財政改革が求められています。現時点において議員の期末手当を引き上げるに相応しい状況にはないと考えます。限られた市政の経営資源の中で市民の信頼に応えていくという観点からも、**このような議員報酬の増額に関して反対いたしました。**\*議会決議では、賛成多数で採決される。

他、新庁舎移転事業に伴う備品購入のにおいて、入札業者数が少なく(2社)、大事な税金を高額で使うのにあたっては、比較検討が不十分だと判断し、反対いたしました。  
\*こちらも、議会決議では、賛成多数で採決される。

**民間目線での判断を失うことなく、今後も審議に臨みます。**

一般質問は、3質問行いました

## 問 リスキリング及び学び直しや生涯教育についての取り組みは

答 「学びの成果が発揮される生涯学習の推進」を基に、本市共催のもとで実施されている獨協大学オープンカレッジでは、パソコン技能講座や簿記検定、語学検定、ファイナンシャル・プランニング技能検定の対策講座など、仕事に活かすという視点にたった取り組みも進めている。

\*働く世代の方々の転入が多い草加市だからこそ、継続した取り組みを要望いたしました。

## 問 小中学校の問題解決支援について

答 問題解決支援チームに寄せられる相談案件として多いものは、いじめ問題や不登校支援に関する対応が多い。日頃より教育相談の充実をはかり、いじめ等に関するアンケートを年5回以上実施し、子供たちの悩みの早期発見・早期対応ができるようにしている。タブレットにも相談できるアプリを取り入れている。

\*昨今、国内で多く発生している、いじめ等の隠蔽が起こらないように、支援チームの人事には細心の注意を払うよう要望いたしました。

## 問 マイナンバーカードの普及について

答 市内では10月末までで46.5%の普及率。市内各4駅で月1回、出張申請サポートの実施や、交付窓口の延長など、申請とカードの受け取りがしやすい環境を整え、普及に向けた取り組みを行っていく。

\*維新としての、社会保障制度の改革を鑑みて、さらなる取り組みの推進を要望いたしました。

### ＜総括として＞

質問・要望と同時に、自らできることを実行し、まちづくりを推進してまいります。学びの環境作りについては、2023年は私自身もセミナーを企画・運営予定です。こちらは詳細が決まり次第、ホームページ、SNS等でお知らせいたします。

草加市民の皆様の声、ご意見、ご要望をお寄せください。

草加市議会議員 川崎ひさのり事務所

〒340-0002 草加市青柳2-21-6

電話:090-4967-0460 Email:ishin.soka@gmail.com

日本維新の会では一般党員を募集しています。

また、政党ポスターを貼らせていただける方も、ご連絡お願いいたします。

詳しくはホームページより、ご確認願います。



<ホームページ>



日本維新の会